

第2回恵那市教育振興基本計画策定委員会意見一覧
(令和7年7月29日開催)

施 策	意 見	備 考
1-1 こども園における教育・保育の充実	保育教諭の離職率が高い。 1年目の研修が多い。1年経験を積んでから実施するとよい。	
1-1 こども園における教育・保育の充実 1-2 確かな学力の育成	こども園は4本柱の中に英語活動が入っており、発音など英語が少し浸透してきた。英語のニーズは地域企業でも高まっており、共通言語としての重要性が増している。まずは、基本的な学力（文法力、語彙力）をきちんと身に付けることが必要。施策、取組に入れる必要はないか。	
1-2 確かな学力の育成	「主体的に学ぶ力の育成」や「探究的な学習」には、基礎学力（知識・技能・思考力、判断力、表現力）が不可欠。	
1-2 確かな学力の育成	ICTは手段であり、使いすぎによる学力低下が懸念されている。これから時間が経つとマイナス面が大きく出てくるので、注意する必要がある。 書く力・読解力の低下に対する危機感があり、視写や作文活動が大事である。 紙の教材や読書活動の重要性が再認識されている。	
1-3 特別な支援を必要とする幼児児童生徒への支援の充実	教育・発達支援センターの充実が評価されており、今後も継続的な支援、さらなる充実が期待される。	
1-3 特別な支援を必要とする幼児児童生徒への支援の充実	接続カリキュラムにより、こども園・小学校の連携がよい形になってきている。	
1-5 教員の指導力の向上	教員の資質向上の部分で、今後の新しいコンプライアンスのあり方について記載があるとよい。	
1-8 健やかな身体づくりの推進	恵那市では大学と連携し、幼児期からの運動文化を推進している。 環境整備が進めば、今後もその仕組みは上手くいくのではないかと。	
1-8 健やかな身体づくりの推進	「市地域クラブ」という言葉が出てきているが、もう少し具体的なところを付け加えて表現しないと、一般市民には分かりづらい。	

1-8 健やかな身体づくりの推進 1-9 競技力の向上	部活動の地域移行では、難しい課題も見えており、特に指導者の確保が大きな課題である。	
1-8 健やかな身体づくりの推進	地域クラブについて、近くにクラブがないため、部活でやってきたことができなくなる。子供がやりたいことができる環境づくりに取り組んでほしい。	
1-8 健やかな身体づくりの推進	文化系活動の受け皿をどうしていくかが課題である。吹奏楽の楽器は、中学校の部活動費で備品として扱っていた。地域移行後は、補助が必要になってくる。	
1-8 健やかな身体づくりの推進	将来的にスポーツ部活動は30%～50%減少する可能性がある。 特に、大人も含めてチームスポーツの衰退が懸念されており、社会性やコミュニティ形成にも影響するため、少しでも維持できるとよい。 まきがね公園では、体力センター（個人運動）の利用は増加が見られ、運動習慣自体は維持されている。	
2-2 豊かな心と社会性の育成	通信制高校への進学が増加しており、社会性の育成を懸念している。 幼児期からの早期支援が重要。学校だけでなく、福祉・医療との連携が必要。 通信制の場合、保護者の経済的負担も増加するため、早めの予防的支援が必要。	
2-2 豊かな心と社会性の育成	コミュニケーション能力は、学校だけではなく、地域のコミュニティ活動（コミュニティ・スクール、地域協働活動、青少年育成の諸活動等）との連携も必要。	
2-3 家庭教育の支援	放課後子ども教室自体が、家庭の教育力向上の学習機会につながるかは疑問である。	
2-6 文化・芸術活動の活性化	「共感した仲間と活動ができる場を創出します。」という部分で、どのようにということ、地域がどう関わっていくのかというところが、もう少し分かるとよい。	
3-1 「志」教育の推進	地域を知るという目的で、総合的な学習を行っている。恵南地域の中学校統合後の継続が課題である（どのように取り組んでいくのか。）	

3-1 「志」教育の推進	「志」教育は、恵那市が大切にしていることであり、継続していくべき学習である。主な取組の中に、小学生は必ず新歴史資料館を訪れる、そこで地域のお話を聞くなど、地域資源を活用した学習を入れていくとよい。	
3-2 「郷土に学ぶ」活動の充実		
3-1 「志」教育の推進	「生き方学習」について、地元の生活の魅力を数値や卑近な例も入れながら、具体的に伝えることが重要。	
3-1 「志」教育の推進	恵那市の良さを知る、恵那市で生きていきたいと願う、そういった生き方の学習になっていくといい。 小中高を通じた発達段階に応じた「志」教育の継続が重要。	
3-2 「郷土に学ぶ」活動の充実	「家庭において親が子供に先祖や家の歴史を伝えるなど、ふるさとを想う子どもが育つように支援します。」は改善点がある。現行計画では「未実施」となっており、もう少し違う言葉で表現した方がよい。	
3-2 「郷土に学ぶ」活動の充実	郷土資料の保存について、QR コードなど、市民が活用しやすい工夫をするとよい（デジタル保存）	
基本理念の実現に向けて ICT を活用した学びの推進	SNS トラブルや犯罪などを課題として捉える。 ICT 教育で、情報の取り方、発信の仕方を学ぶ。	